

2019.4

Vol.026

公益社団法人 つくば市シルバー人材センター  
働きませんか，健康で，たのしく

# ぎずな



理事長のインタビュー

「女性にもっと活躍の場を！」

中学生たちの自転車修理体験

会員の研修

日本の農業と緑を守る防疫所

職場訪問

女性会員のボランティア活動

## 〈宇都宮理事長インタビュー〉 女性にもっと活躍の場を！



宇都宮理事長

全国のシルバー人材センターで共通の課題の一つが、女性会員の獲得と増加でしょう。当センターでも長年におたる課題となっています。地区統括部会長という重要な役割を経験して今期就任された宇都宮理事長に、ビジョンと方策をお伺いしました。

### 〈女性会員の現状は？〉

当センターの全会員698人中、女性会員は190人で27・22%を占めています（2019年1月31日現在）。ここ3、4年間はほぼおおきな変化はありません。全国では50%を超すところもあるので、当センターでも将来、女性会員を300人くらいまでにもつていきたいと考えています。

### 〈女性会員の意識は？〉

全国のセンターへの入会理由が、男性では「生きがい、社会参加」「経済面」「時間的余裕」「健康の維持」がそれぞれ2〜3割、一方女性では「生き

がい、社会参加」が5割近くを占めているそうです。したがって女性会員については、男性と異なる視点から、取り組む必要があります。女性で60歳以上の方々は、子育てなども終えて、男性よりも比較的時間に余裕のある人が多いと推測しています。つくば市将来推計人口2020年を見ますと、60〜69歳では男性12,100人、女性約13,000人となっております。センターの将来を考えると、女性会員獲得が重要です。

### 〈どうすればよいのか？〉

女性限定の入会説明会を増やして女性会員の促進を図ることでしょうか。入会には理事会の承認が必要ですが、その承認手続きをもっと簡素化、迅速に行う必要があります。女性会員が増えるにつれて、さまざまな女性会員からの声を取り入れ、サークル活動や小物製作分野の充実、将来の〈独自事業化〉、センター理事への参加、各部会委員会への参加をお願いして、センターの運営にもっと女性がかかわることと、センターの活性化が大いに期待されます。女性会員のだれでも参加できる「すけっとくん」のような仕事を作りたいですね。

### ◆やまびこ◆

千葉県で、小学四年の女の子が自宅で亡くなり、両親が虐待の疑いで逮捕された事件では、子どもを守ることができなかつた行政サイドの不手際には怒りを覚えます。周辺の住民はなぜ気付かなかったのか。子どもを守るということは、大人のみんなが「責任」をもつことです。折しも、「茨城県子どもを虐待から守る条例」が議員提案により制定され、本年4月1日から施行されること。みんなが力をあわせて子どもを守りましょう。

### 〈女性会員活躍の場はあるのか？〉

センターの現状は、女性会員が参加できる社会活動の場が少ないし、地区によってはサークルのような集まりがあっても趣味としての集まりがないなど、センターへの魅力、関心が極めて薄いという問題があります。女性会員が増えて声を上げることが大切ですが、現状ではそれに参加する女性会員が少ない。男性会員のご協力にも期待します。

### 〈これからやりたいことは？〉

女性会員だけの入会説明会を増やす、ホームページで女性会員の活躍をどんどんPRする、女性ならではの誇りをもてるようなきれいな仕事を

増やす、男女差のない仕事をつくる、女性会員中心の楽しい集いなど、簡単なことではありませんが、一歩ずつ進めていきたいと思えます。

2020年におけるつくば市 将来推計人口(人)			
年令	男	女	(計)
0～59歳	89,672	84,168	173,840
(60歳以上)			
60～64歳	6,002	6,233	12,235
65～69歳	6,127	6,674	12,801
70～74歳	6,653	7,028	13,681
75～79歳	4,558	5,062	9,620
80～84歳	2,827	3,743	6,570
85～89歳	1,616	2,951	4,567
90歳～	728	2,661	3,389
(計)	28,511	34,352	62,863
合計	118,183	118,520	236,703

<会員数(人)> 平成31年1月31日			
地区	男	女	小計
筑波	49	23	72
大穂	34	16	50
豊里	38	17	55
桜	78	31	109
谷田部	161	57	218
荃崎	148	46	194
計	508	190	698

(男女比率  
72.78% 27.22%)

## 事務局長が交代しました

4月の人事異動で矢口事務局長が転出し、後任に国府田修さんが赴任しました。矢口局長ご苦労さまでした。

## 自転車部での職場体験実習

1月28日、29日、自転車部の自転車再生組み立てリサイクル施設で、吾妻中学校の8学年生3名の生徒が職場体験実習授業の一環として、自転車修理の体験を行いました。3名は自転車部の目的や運営方針の説明を受けたあと、寒風が吹く野外で部員の指導のもとにパンク修理、タイヤチューブ、ブレーキワイヤー等の交換で専用工具を駆使して修理を行い、取り外した部品の管理や修理後の点検、調整の実習を行いました。

中古の自転車は錆や破損箇所が多く、部品の取り外しや解体には力、技術や経験が必要で悪戦苦闘する場面も見られます。



自転車修理を教わる中学生たち

した。自転車部の事業は、放置自転車や回収した自転車のリユースを推進（処分委託）し、ゴミの減量化に寄与しています。これらの自転車は安全整備士の資格をもつ部員によって点検修理され、防犯登録、自転車保険（TSマーク）に加入したものも販売するなど安全面でも万全を尽くしています。生徒さんも普段何気なく乗っている自転車を安全に正しく乗るために、点検・整備の大切さなど多くのことを学んだのではないのでしょうか。自転車部の地道な努力が地域に根つき、環境の改善のみならず、学校教育の場までおよんでいます。作業環境などはまだまだ改善が必要と思われる点があります。独立事業としてぜひ頑張っていたきたい。

## 剪定技術講習会盛況!

平成最後の剪定作業の技術講習会が、1月23日大穂地区前野のN邸の庭園で行われました。講習会には受講者55名、講師9名が参加し、庭園内の大きな榎、松、梅、低木の庭木さらに各種果樹に対し、3グループに分かれ講師の指導に沿って剪定作業の講習を実施しました。



ベテランの指導員と受講生たち

剪定作業は樹木の種類によって樹幹、枝や葉の切断方法が樹種によって異なり、同じ木であっても残す枝、切断する枝の判断をしなければならず、樹種を見分け、剪定技術の習得には経験と熟練が必要な業務です。また、大きな樹木では三脚を使った高所での作業も多く、足場も悪い中でのこぎりやハサミを使うため、作業中の落下などの危険が極めて高い作業環境となります。

受講者は講師から服装、安全の確保や樹種の名称などの説明を受けた後に実際の剪定作業を行いました。邸内の

所々で剪定している樹木の周りに集まって、講師に切り落とす枝などを質問したり、指示されるなど技術の習得に熱心に取り組んでいました。受講生の皆さん、安全作業をお願い致します。

### 〈会員に対する研修会〉 新規会員の送り出し教育研修

今年度4月～9月に新規会員の送り出し研修が1月28日大穂センターで開催し、新規会員25名が出席しました。講師として株式会社アップグロースの宝田佳永子氏を招聘し、『コミュニケーションの誤解が引き起こす苦情と対策』と題し、(1)サービス業で働く会員の役割、(2)接遇の基本、(3)苦情対応の基本についてレクチャーがありました。

送り出し教育研修は、センターとして初めての試みで、新規会員がシルバーの会員として初めて就業先の職場に着く際の心構えと接客・接遇の基本を改めて確認するために開催されました。9月以降に新規加入者については、3月下旬に同様の研修を行い、就業先の職場に円滑に適応し、就業直後のトラブルや早期退職などが少なくなることを期待しています。

### リフレッシュ研修会

例年、実施している入会3年目と6年目の会員に対するリフレッシュ研修会が2月27日、3月8日に大穂センターで開催し、両日で会員46名が出席しました。今年度も『接客・接遇』について行い、送り出し教育研修と同様に、株式会社アップグロースの宝田佳永子氏による、『コミュニケーションの誤解が引き起こす苦情と対策』のレクチャーです。(1)サービス業で働く会員の役割、(2)接遇の基本、(3)苦情対応の基本について改めて教わり、就業中の職場で活かされることを願っています。



リフレッシュ研修会の会場

## 〈日本の農業と緑を守る〉 横浜植物防疫所

### つくばほ場探訪

「外国人が多くなったね。マンゴ、アボガド、ブドウ、外国産のカボチャ、ブロッコリー、玉ネギ、花卉類も豊富に売られ種類も多いね!」「一昔前は病害虫の關係で輸入できなかつたものもあるよね」

グローバル化による人の往来、国際貿易の活発化によって物流が大幅に増加し、日本に輸入される野菜、果物、苗木、球根など植物の種類や量も増えています。これまでなかつた病害虫が侵入する危険性も高まっています。ひとたび病害虫が侵入すると、根絶することは難しく、既存の植物への被害も甚大となります。心配です、大丈夫なのででしょうか？

ご安心ください。皆さんの前にある輸入果物、野菜、球根、苗木、種子や大量の穀物などすべての輸入品は農林水産省の植物防疫所が病害虫をもっていないか港や空港で常に監視し、病害虫の侵入の防波堤となっています。店頭に並んでいる果物や野菜は、必ず植物防疫所の防疫官の検査や確認を経て

います。防疫官は港や空港で、さらに郵便物、手荷物など日本に持ち込まれる穀物や植物に『植物検疫検査証明書』が添付されているか検査し、ウイルス感染がないか、さらにミバエなどの成虫や卵が付着していないか等の病害虫の有無を目視、時にはサンプルリングして精密検査を行っています。輸出

国によって発生病害虫も異なりますが、事前に病害虫発生情報を収集し、水際で侵入を防ぎ、日本の農業と緑を守っているのです。

この中で果樹苗木、花の球根、ジャガイモ（種イモ）等は全国に6ヶ所ある隔離ほ場施設で栽培をし、ウイルス等を病徴観察や遺伝子診断法で調べています。つくばほ場もその一つで、神奈川県大和市から7年前に移転した新しい施設です。この施設で苗木は1年間、球根は1作期育てられ、主に葉をサンプルリングしてウイルス等に感染していないか検査し、発生がなければ苗木類を輸入業者に引き渡し、発生があ



隔離ハウス内での苗木の検査

れば廃棄処置を講じます。過去に柑橘類に付くミバエが沖繩から奄美本島に入り、増殖して大きな被害が発生したので、ミバエの雄だけを誘引して捕獲する方法で防除するまでに18年を要したそうです。ひとたび病害虫が侵入すると防除に膨大な年月と費用がかかります、地域経済に大きく影響することになります。このように植物防疫所は、日本の農業と緑を守るためになくてはならない存在となっているのです。

#### 表紙の説明

牛久沼辺りで時おり見かけるカモメが、オオバンの食事に割り込もうとして、追いたてられるシーン

## 「ふかふかの布団ですよ！」 ―高齢者布団丸洗い 乾燥集配事業―

センターはつくば市が行っている高齢者助成事業「布団丸洗い乾燥集配」の業務を請け負っています。この事業は市内在住65歳以上の高齢者所帯に対し、年に1回（寝たきりの老人がいる世帯は2回）、掛け布団、敷布団、毛布を無料で業者による布団丸洗い乾燥のサービスを行う制度です。

業務は、高齢者世帯から寝具3点を受け取り、乾燥業者の施設に搬入し、12日後に乾燥された3点セットを各世帯まで送り届ける仕事です。現在2名1組の3チームで、茎崎・つくば地区、さくら地区、大穂・豊里・谷田部地区に分けて担当しています。

チームを組んで2年目の沼尻さんと大越さんに、業務の方法、仕事での楽しみや苦労話を伺いました。お二人は茎崎・つくば地区を担当し、高齢者世帯の400〜500件を1年かけて全戸を回っています。週2回（木、金曜日）布団を受け取り、乾燥施設に搬入し、乾燥が終わった布団の納品は、週2回（搬入から12日後の火、水曜日）



温かいフトンを高齢者に届ける大越会員

行い、週に20件の仕事をこなしています。受け取りと納品の際は、電話で順にアポを取り、納品時に市から配布されているカードを受け取り、半年後にカードを整理して市に提出します。二人のお話では、「そりや人さま相手の仕事で苦労もありますが、皆さんに喜んでいただけるのがうれしい、長く続けたいと思っています。ただ、若い人と同居している世帯は、このサービスが受けられないのです。もつと多くの人が利用できれば、たくさん働きたいのね（笑）。」とのこと。ご苦労さまで無事故、安全運転でお願いします！

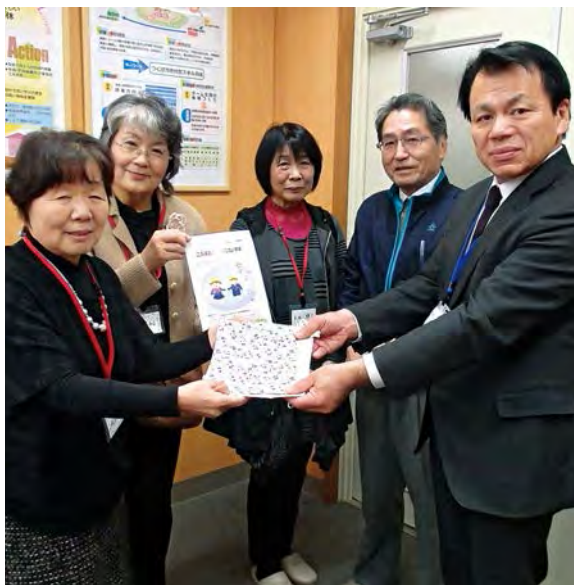
## 〈研修会報告〉

目まぐるしく変化するいまの社会では、我われセンターの役職員も絶えず自己研鑽を積まなければなりません。2019年2月22日、公益社団法人龍ヶ崎シルバー人材センター（龍ヶ崎SJC）のご厚意で、我がセンター課題の空き家サービスや訪問介護・新総合事業、女性会員の入会や就業などについて、すでに実施中の同センターで研修する機会を得ました。塚本理事長さまはじめ幹部のみなさまから、各案件の立ち上げから問題点などのご説明があり、質疑応答を通して、行政サイドとの緊密な協力が欠かせないことなど、実際に携わっている方たちならではの貴重なお話を聞くことができました。龍ヶ崎SJCのみなさま、ありがとうございます。このあとは、県内の大手乳製品メーカー、株式会社明治の守谷工場を見学しました。ここはご存知の明治ブルガリアヨーグルト、R-1などを生産している主力工場の一つです。この日守谷市内で気づいたことは、新しい住宅が多く立ち並び、下校中の子どもたちを数多く見かけたことでした。つくばエクスプレスの波及効果は絶大です。

## 今年も贈り物!

女性活躍委員会では数年前から、小学校新入生の入学祝いとして、コップやお箸などを入れる巾着袋の贈り物を行ってきました。今年も2月27日、今鹿島、沼崎、上郷の3つの小学校に入学する新入生全員140名に、かわいい包装紙で巾着袋を包み、お祝いのメッセージと人材センターのチラシを添えた封筒を、それぞれの学校の校長先生に届けました。

巾着袋はセンター女性活躍委員会の会員の有志が毎月、第1、第3水曜日にセンター談話室に集まり、一つ一つ色や模様の異なる布で丁寧に真心を込



入学祝いを贈る女性会員たちと小学校校長

めて製作したものです。毎年、恒例としていくつかの学校に届けているため、新入生やお母さん方も楽しみに待っていて、学校の教材入れとして卒業するまで使っている生徒もたくさんいるようです。

女性会員によるこのサークル活動は、地域に確実に密着し、女性会員の交流の場として根つき、参加者も年々増え、いろいろな製作品が作られております。これら品々は販売され、希望者は購入することもできます。巾着袋を新入生に贈る活動がますます盛んになり、センターの事業化にまで発展することがみなさんの夢になっています。

## 今年度新入会員の傾向!

4月～2月までに入会審査を受け、入会した会員は99名になりました(1月、2月に審査を受け、4月以降に入会を希望する人を除く)。男女の内訳は、男性69名、女性30名、平均年齢は、男性69・0歳、女性68・3歳、最高年齢はそれぞれ79歳、78歳でした。

第一希望の職種を見ると、女性は屋内外の雑役・清掃作業が14人、約50%、調理・食品関係作業が3人で残りの方

は子育てサポートなどいろいろな業務を希望していました。一方、男性は建物管理、建物一部管理が24人、35%、屋内外の雑役・清掃作業関連が12人、17%、植木・造園工事、除草作業が9人、13%と、この3職種で45人、65%、残りの方は事務関連、表具・表装作業、駐車場管理などの希望となっていました。

男女とも特定の職種に希望者が集中し、とくに男性の場合、建物関連の管理業務に希望が多く、競合によって就業先の確保が難しくなる可能性があります。

	希望職種 (第一希望)	人数	%
女性 (30人)	屋内外の雑役・清掃作業	14	46.6
	調理・食品関係作業	3	10.0
	除草作業	2	6.7
	販売	2	6.7
	その他 (事務、育児サービスなど)	9	30.0
男性 (69人)	建物管理、建物一部管理	24	34.7
	屋内外の雑役・清掃作業関連	12	17.4
	植木・造園工事、除草作業	9	13.0
	事務関連	5	7.2
	表具 表装作業	3	4.4
	駐車場管理	3	4.4
	荷造・運搬作業、自動車運転	3	4.4
	配達、販売	2	2.9
	その他の屋外作業、製造作業など	8	11.6

ます。理事会、事務局としても集中する職種の対策や、就業先の拡大や新規開拓に精力的に取り組まなければなりません。

## コラム

### 〈陶淵明先生に学ぶ〉

中国の田園詩人として名高い陶潜（字は淵明、紀元後4～5世紀）の詩「移居（居を移す）田舎へ引越す」中に次の句あり。「衣食まさにすべからく紀すべし、力耕（りきこう）吾を欺（あざむ）かず」。意は、衣食は自分で工夫する必要があるが、一生懸命に農作業をやれば、その結果はしっかりとついてくるものだ。あえて上役に膝を屈することなく、見切りをつけて田舎生活を選んだ淵明先生に共感！

### ホームページの更新

インターネットを通じて組織や企業のホームページ（HP）を、パソコンやスマホで簡単に見ることができます。センターもこれまでにHPを開設しており、どなたでもパソコンから見ることができます。前期の役員会で

HPの見直しが検討されましたが、具体的な動きまでには至りませんでした。そこで総務部会は①HPが何のためであり、誰に向かって何を公開しているか、②外部の人、会員が見たくならないような形式やデザインになっているか、③時代に即した対応になっているかについて、近隣市町村の人材センターのHPを参考に調べてみました。この結果、HPを新たに更新すべきとの意見が多く、あらたに予算を確保し、広報委員会を中心に更新作業を進めることになりました。

2月初旬、業者を選定し、上記3項目を考慮しつつ公開する項目や内容、デザインの検討に入り、何回かの打ち合わせを行いました。「きずな26号」が皆様の手元に届く4月には、何とか完成させ、パソコン、スマホから閲覧できるようにしたいと考えています。新しいHPのドメインは、<http://www.tsukuba-sjc.or.jp/>となります。お楽しみに！

## ご案内

入会説明会を次の通り行います。入会を希望される方は直接会場にお越し

下さい。お問い合わせは、電話で受け付けております。ホームページにも掲載しております。

月日	時間	場所
4月11日(木)	1時30分～	大穂庁舎3階
5月9日(木)	1時30分～	大穂庁舎3階
6月13日(木)	1時30分～	大穂庁舎3階
7月11日(木)	1時30分～	大穂庁舎3階

## 臨時職員紹介

1月から阿部真理子さんが事務局に入りました。阿部さんはインターネット活用など情報関係に詳しく、「事務局だより」「きずな」などの広報に関する業務を担当し、見直し中のホームページ（HP）の作成に精力を注いで頂いています。よろしくお願い致します。

## ◆きずな原稿募集

「きずな」の原稿を随時募集しています。就業先での出来事や体験談、身近な出来事等々、お待ちしております。些少ではありますが執筆謝礼をご用意いたします。